

子育ては誰のもの？



新たな命に喜びいっぱいになる半面、不安や悩みも絶えない子育て。

今月号では、慣れない子育てに対する不安が多い乳幼児期に焦点を当て、当事者や支援する人たちの声を紹介します。安心して子育てできるために、私たち一人一人に何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

子育て中の親は孤独で不安。コロナ禍で加速した孤立化——。

奇跡の連続でこの世に生まれてきた赤ちゃん。喜びとともにスタートする子育ての中で、たくさんの「どうして?」「なぜ?」に直面します。子育てに正解はないからこそ、不安や悩みが絶え間なく押し寄せます。

核家族化の進行や、地域の中での人間関係の希薄化により、子育て世帯を取り巻く環境は大きく変化していま

す。さらに、コロナ禍が加わったことで、子育ての不安や悩みを打ち明ける機会は減少。子育て世帯の孤立化は、コロナ禍により助長された面も大きくありました。

今月号では、子育ての当事者や支援する人たちの声を紹介して、「子育てはだれのもの?」という問いに対する答えを探ります。

わたしの育児体験



聡美さん、啓太朗さん

一人では子育てできない

実家は県外 コロナ禍で不安な子育て

私の実家は遠方で、結婚を機にいなべ市民に。慣れない土地での初めての育児、そこにコロナ禍が重なり、本当に一人で育児しているような気分でした。

コロナ禍の出産と育児は、孤独でした。「出産までにこういうものを準備したよ」などの先輩ママからの生の声を聞きたかったけれど、産院では人との接触が制限されていました。親しい友人たちは県外にいるため、なかなか会えずに辛かったです。

産後7カ月ごろは、息子の夜泣きがひどく、全く寝られない日が続き、体力的にも限界に。ベビーカーに乗せている時だけは寝てく

れたので、ベビーカーに乗せて3時間くらい近所をウロウロと散歩していました。

人との関わりで 私は救われた

「いつまで続くんだろう」と育児の見通しがつかないことが、何より怖かった中、子どもを連れてスパーに行くと、全然知らない人が「今が一番大変なときよ」と声をかけてくれました。しかも何人も。後日、会ったときは「大きくなったね」と声をかけてくれました。近所の散歩中でも、私を覚えて声を

かけてくれる人が多く、存在を認められているように感じてすごくうれしかったです。

気持ちを立て直したきっかけは、ブックスタートの案内が来て、初めて子育て支援センターに行ったことです。コロナ禍で交流がなかったママ同士で話すことができ、気持ちが救われました。

今振り返ると、「一人では子育てできない」と感じます。

今も悩むこともありますが、それ以上に息子の日々の成長を楽しみながら、子育てをしています。



子育て応援団 子育てを見守り、安心して子育てに取り組めるように応援



鈴木千恵子さん、前田陽子さん

鈴木さん 自分が子育て中に、子育て応援団さんと触れ合った経験があります。自分の子どもが成長した今、お世話になった「恩返し」をしたいと思い、今度は自分が子育て応援団になりました。何より、子どもが大好き！自分のできる範囲で、活動できる这也是魅力です。

前田さん 自分に孫が生まれたのをきっかけに、何か子育て世帯のためにできることはないかと思うようになりました。昔に比べて、地域の中で子どもと関わるのが減りました。子どもが好きなので、この活動で子どもたちに触れ合えてうれしいです。

あそびの会（北勢地区） 地域の中でつながりをつくる自主的なサークル



伊藤幸治さん、岡田和雄さん、近藤真由美さん、岡本和美さん、谷口周子さん、伊藤いずみさん

岡田さん 民生委員の活動をしていたときに、お母さんたちの孤立を実感しました。孤立をなくすため、地域の中で子育て世帯が交流できる場を提供しようと「あそびの会」を始めました。現在、北勢町の4つの校区ごとにあそびの会を開催しています。活動を通して、元気をもらっています。

岡本さん 孤独になったり、悩んだりしている人こそ、あそびの会に来てほしい！

近藤さん 安心して子育てできる環境にするには、地域でのつながりを作ることも大事。息の長い活動にしていくなために、メンバー募集中です。☎ すこやかランド ☎ 72-8488

子育てをみんなのものに

地域の中には、子育てを応援する人たちがたくさんいます！
子育て支援センターと協力して、子育ての応援をしている人たちの声を紹介します。



1～4. 子育て支援センター（なかよしひろば）の「おでかけ」 5. あーちゃんのとてによる通園バック作り 6. 藤原おはなし会 こだまによる絵本の読み聞かせ

7～10. 子育て支援センター（遊・友・YOU チャイルド）の「出前ひろば」 11.12. あそびの会（阿下喜、山郷）

藤原おはなし会 こだま 絵本の読み聞かせ



木村寿子さん、羽場則子さん

木村さん コロナ禍で中止していた子育て支援センター（つくしんぼ）での読み聞かせを再開しました。子どもたちが本の世界に入り込む様子を間近で見るとうれしくなります。

羽場さん 何か自分にできることをと思い、2年前から活動に参加。新しい世界が始まってワクワクしています。

民生委員 ブックスタートやイベント 開催時に活躍



多湖朋子さん、日紫喜綾子さん、日紫喜和子さん

日紫喜（綾）さん 子育て支援センターが開催するイベントは、地域の中でつながりができるのが良いですね。

多湖さん お母さんたちと会話するのが楽しみです！

日紫喜（和）さん 小さい子と触れ合うのは久しぶりで、あっという間に時間が過ぎました。

あーちゃんのとて 手作りのぬくもりで子育てを手助け



海老瀬保子さん、太田春代さん、多湖三千代さん、日紫喜り子さん、日紫喜昭子さん、伊藤郁子さん

伊藤さん 子育て支援センター（なかよしひろば）で、通園バック作りや託児のお手伝いをしています。小さい子たちに関わると、エネルギーをもらえます。私たちにできることがあれば協力しますので、いつでも声をかけてくださいね。メンバーも募集中です。

☎ なかよしひろば ☎ 74-5829

子育てを孤育てにしない

おいでよ！子育て支援センター

市内に5カ所ある子育て支援センターでは、未就園児とその保護者を対象に、安心して遊べる場所を提供しています。



すこやかランド（北勢）室内

募集

メンバーを募集しています！

子育て応援団

親子が地域で安心して子育てに取り組めるように応援するボランティアです。

子育て支援センターでイベントを開催するときの託児を担ったり、散歩に付き添ったりと活動はさまざま。自分のできる範囲の活動で、子育てを見守りませんか？

興味のある人は近くの子育て支援センターへ問い合わせください。

問 すこやかランド（北勢） T 72-8488
問 なかよしひろば（員弁） T 74-5829
問 遊・友・YOU チャイルド（大安） T 77-2657
問 はっぴい・はあと（大安） T 78-0246
問 つくしんぼ（藤原） T 46-8733



すこやかランド（北勢）
伊藤友恵、安藤寛子

孤立した子育てをなくすために

家にいると行き詰ったり、孤立を感じたりしますよね。子育て支援センターで横のつながりを作って、子育ての活になってもらえるとうれしいです。子育て支援センターに行くのを迷う人もいるかもしれませんが、少しの勇気を出して来てみてください。子育て仲間が待っています！

地域と子育て世帯をつなぐ

子育て支援センターは、地域と子育て世帯をつなぐ役目があります。子育て応援団さんたちと協力して、地域の中での多世代の交流を大切にしています。センターで待っているだけではなく、地域の中に出て行くことも大切な活動です。地域の中で子育て世帯への見守りの目を増やすことで、孤立した子育て世帯を減らせるのでは。

育児の悩みがある子育て世帯にとって、人生の先輩からの「大丈夫だよ」との言葉に安心することもあります。ぜひ、今までの豊かな経験と知恵を子育て世帯のために貸してください。

子育て世帯に、あいさつなどの声かけをするだけでも立派な子育て応援団です。もっと子育て世帯を応援したい！と思っていただけたら、各子育て支援センターに問い合わせてください。一緒に子育て世帯を応援しましょう！

一人で悩まないで！さまざまなサポートで子育てを支援しています



いなべ市母子保健課 保健師
加藤菜月、片山佳恵、山本果南、佐藤梨乃、渥美麻奈、林菜穂

市の地区担当保健師が、母親の妊娠期から子育て期を途切れなく支援しています。

市には産後ケア事業や助産師による新生児訪問事業、今年度から始まった産後ママサポート事業など、さまざまな支援があります。乳幼児期は特に母子が孤立しがちな時期です。一人で悩まずに、私たちに相談してください。

一人で頑張らずに、使えるサポートを利用して、みんなで育てていきましょう！

産後ケア事業



一人で全部しようとせずに、
困ったときは利用してください

助産師、保健師、看護師などが母親の体と心のケアを行い、子育てをサポートします。

- 対象
市内に住民票がある産後12カ月までの母子
- 内容
ママの心身のケア、乳房ケア、沐浴や授乳の育児指導、生活や育児に関する相談など
- 料金
①宿泊…3,000円/日
②日帰り…2,000円/回
③訪問…1,200円/回
- 利用限度 一人7回まで

問 母子保健課 T 86-7770

助産師による 新生児訪問事業



助産師 谷崎恵美

産後1カ月未満の新生児を持つ母親に、助産師が心身のケアや授乳指導を行います。一人1回まで（無料）。

産後ママサポート事業

産後の母親の休養を確保するため、保育士が子どもを日中預かる事業が今年度からスタート。

- 対象
市内に住民票がある生後2カ月までの乳児
- 日時 平日9:30～16:30（祝日除く）
- 場所 保健センター
- 予約 申し込みフォームから
- 利用限度 一人2回まで（無料）



＼ 子育て支援センターは親子で楽しく遊べる場所 ／



子育てをみんなのものに

子育ては、決して親だけのものではありません。子どもは、地域で育てるみんなの「宝物」。目の前に子育て世帯がいたら、何か自分にできることから応援してみませんか。私たち一人一人の助け合いの気持ちが、安心して暮らすことができるまちをつくれます。

